

このたびは、レクサス純正「サイクルアタッチメント」をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

なお、本品を他のお客様にお譲りになる時は必ず本書も合わせてお渡しください。

品番

品番

08308-00H30

取扱上の注意事項

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 注意 …… 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあります。

👉 アドバイス …… より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 作業がしづらい場合は、脚立などを使用して作業を行ってください。
2. この取扱書に記載されていない、取り付けおよび使用法は絶対に行わないでください。
3. 記載事項を守らなかったために発生した破損、故障、事故につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。
4. 脱脂剤等の使用時は、火気に充分注意してください。

取り付けに必要な工具等

・脚立、軍手、ウェス、脱脂剤等

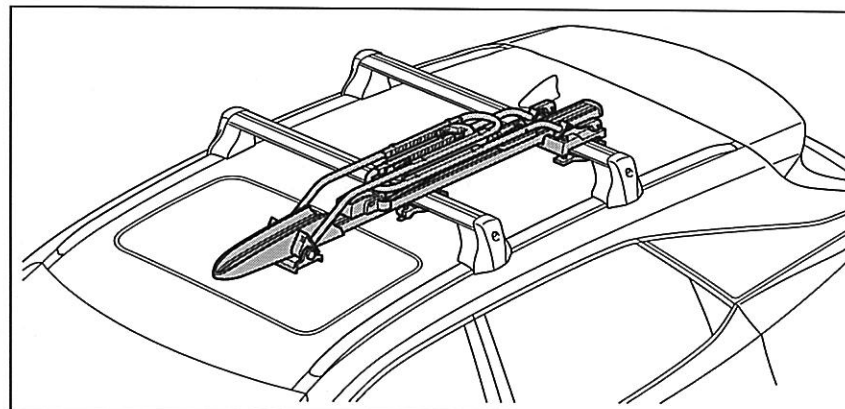
構成部品

サイクルアタッチメントセット		
No.	品名	個数
①	セット本体	1
②	ロック用ワイヤー	1
③	キー	2
④	ゴムシート	2
⑤	取扱書	1

補給品番 (08308-00D40)		
No.	品名	個数
⑥	ロアプレート	3
⑦	ノブボルト	5
⑧	ウイングノブボルト	1
⑨	ノブナット	2
⑩	レバー LH	1
⑪	レバー RH	1

補給品番 (08308-00D50)		
No.	品名	個数
⑫	ロック用ワイヤー	1

取り付け概要



使用前の確認

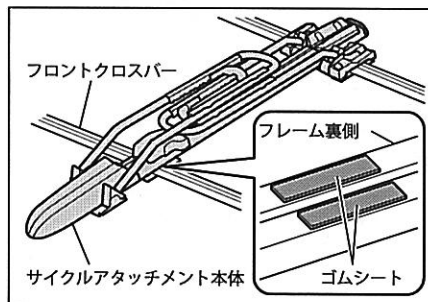
適合サイクル

- ・タイヤサイズ：20インチ～29インチ
 - ・ホイールベース：85cm～120cm
 - ・タイヤ幅：18mm～68.5mm、0.75インチ～2.7インチ
- ディスクホイール装着車は横風の影響を受けやすいため、特に風の強い日（目安は風速10m/s：高速道路の吹流しが水平）は走行しないでください。

不適合サイクル

- ・タイヤに密着したフェンダー（泥除け）付き車
- ・両立スタンド装着車
- ・総重量23kg以上。

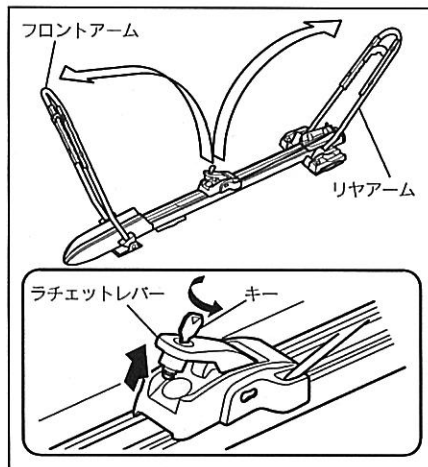
取り付け前の準備



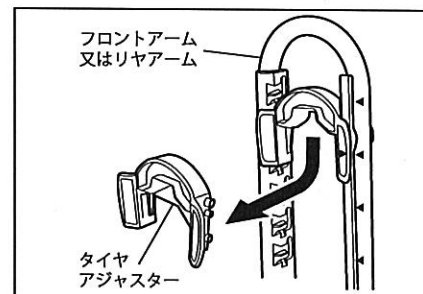
1. サイクルアタッチメント本体のフレーム裏側とフロントクロスバーの当たる位置に、ゴムシートをフレーム裏側に貼り付けます。

△ 注意

ゴムシートを貼り付ける際、貼り付ける位置の水分・ほこり・油分等を充分拭き取り、脱脂処理をしてください。

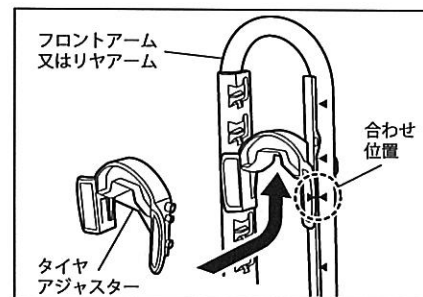


2. フロントアームを持ち上げるようにして全開します。
3. キーを回してラチェットレバーのロックを解除します。
4. ラチェットレバーを開いた後、リアアームを全開します。



タイヤアジャスターの調整方法（取り外し）

タイヤアジャスターを押し下げてアームから取り外します。



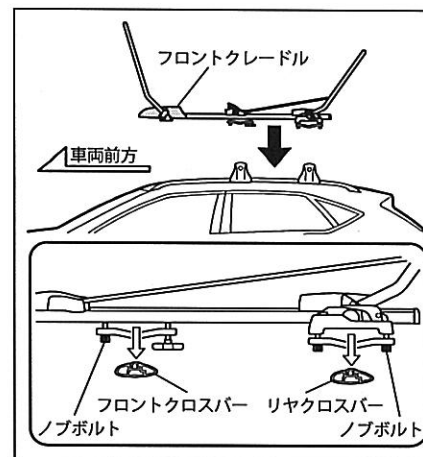
（取り付け・調整）

1. タイヤアジャスターをアームに嵌めた後、押し上げて取り付けます。
2. タイヤアジャスターとアームに付いている三角マーク（▲）を合わせます。

△ 注意

1. タイヤアジャスターは三角マーク（▲）の位置に7段階の調整ができます。
2. 積載する自転車の種類により、アジャスターの位置を調整してください。

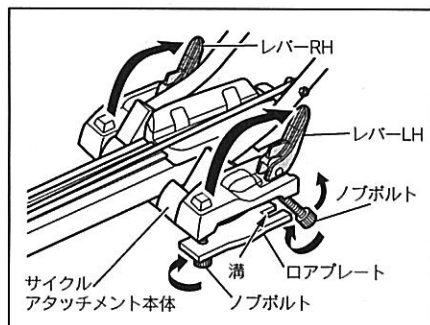
取り付け要領



1. サイクルアタッチメント本体のフロント、リアアームを全開にした状態で前後のノブボルトがフロントクロスバーとリアクロスバーをまたぐようにクロスバーの上に仮置きします。

△ 注意

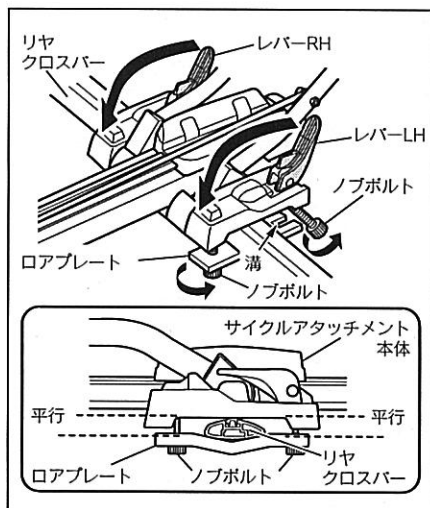
1. フロントクレードルが車両前方になるように置いてください。
2. フロントクロスバーとリアクロスバーに風切音低減プレートが付いている場所を、できるだけ避けて取り付けを行ってください。



2. 後側のレバー (RH/LH) を持ち上げノブボルトをリリースした状態にします。
3. ノブボルトを回しロアプレートの溝からノブボルトを外します。
4. 両方のノブボルトを十分に緩めた状態でリヤクロスバーの上に載せます。

△ 注意

取り付けは必ず後側から先に行ってください。



5. ロアプレートの溝にノブボルトを引っ掛けます。
6. ロアプレートが少しガタ付く程度に両側のノブボルトを締め付けます。

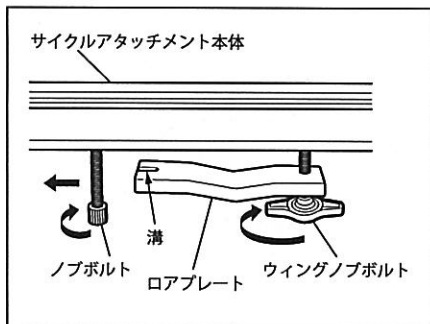
△ 注意

サイクルアタッチメント本体とロアプレートの間が平行になるようにノブボルトで調整してください。

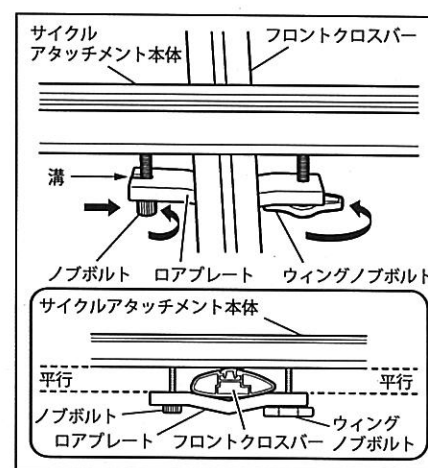
7. レバー (RH/LH) を倒してサイクルアタッチメント本体の後側を固定します。

△ 注意

1. 締め付けすぎた場合は、ロアプレートを持ち上げて、レバー (RH/LH) を倒してください。
2. レバー (RH/LH) を持ち上げた状態でノブボルトを締め付け過ぎると緩み止め構造により緩まなくなる恐れがあります。



8. ウィングノブボルトを緩め、ノブボルトをスライドさせロアプレートの溝からノブボルトを外します。
9. ノブボルト、ウィングノブボルトを十分に緩めた状態でフロントクロスバーの上に載せます。

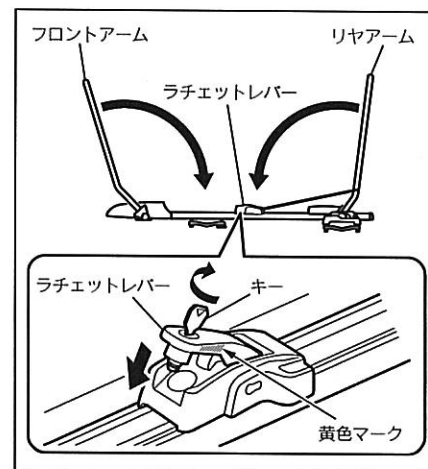


10. ロアプレートの溝にノブボルトを引っ掛けます。
11. ノブボルト、ウィングノブボルトを適度に締め付けます。

△ 注意

サイクルアタッチメント本体とロアプレートの間が平行になるようにノブボルト、ウィングノブボルトで調整してください。

12. ウィングノブボルトを回してサイクルアタッチメント本体を固定します。



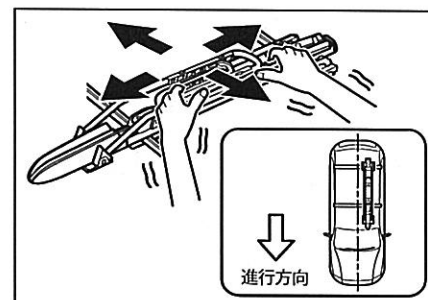
13. リヤアーム、フロントアームの順に折りたたみます。
14. ラチェットレバーを閉じキーを回して、ラチェットレバーをロックします。

△ 注意

ラチェットレバーが確実に閉じ、側面の黄色マークが隠れていることを確認してください。

👉 アドバイス

キーを抜いた状態で閉じるとラチェットレバーが押しやすくなります。

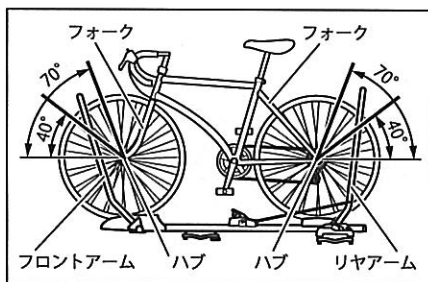
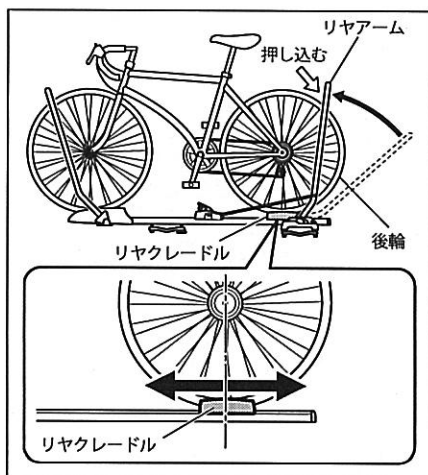
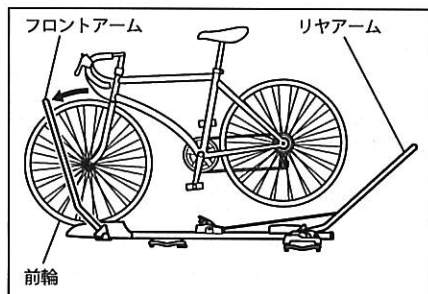


15. 本品を前後左右に揺すり、緩みがないことを確認します。

△ 注意

1. 緩みがある場合は、ノブボルトまたはウィングノブボルトを増し締めしてください。
2. 車両進行方向に平行に取り付けてください。

自転車の積載方法



自転車の乗せ方

1. フロント、リアアームを全開の状態にします。
2. 前輪をフロントアームの間に差し込みます。

⚠ 注意

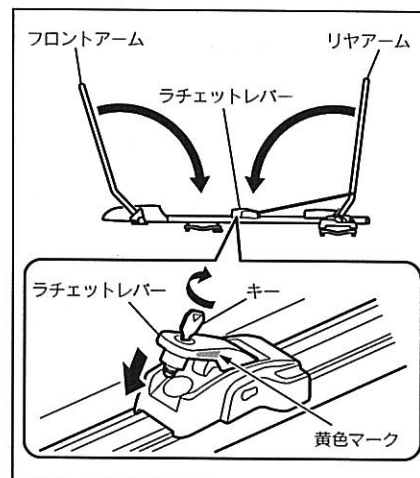
1. 作業は安定した平らな場所で行ってください。
2. フロントアーム側に必ず前輪がくるように積載してください。逆に積載すると自転車を確実に固定できないため、脱落する恐れがあります。
3. 自転車を積載する際は、車両を傷付けないようにしてください。

3. リヤクレードルを後輪の中心位置にします。
4. 後輪をリアアームに押し込みながら、リアアームを起こします。

5. フロントアームとリアアームのタイヤアジャスターがタイヤの40° ~ 70°の範囲で、一番高い位置に当たるようタイヤアジャスターで調整してください。(P.4のタイヤアジャスターの調整方法を参照。)

⚠ 注意

自転車のフォーク・ハブがアームに当たらない位置にあることを確認してください。



6. ラチェットレバーを閉じてリアアームを固定します。

🔧 アドバイス

1. ラチェットレバーがかたすぎたり、緩すぎる場合は、ラチェットレバーの位置又はタイヤへの押し当てを調整してください。
2. キーを抜いた状態で閉じるとラチェットレバーが押しやすくなります。

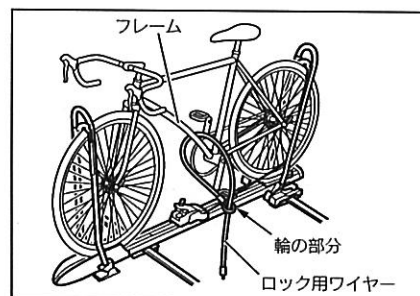
7. キーを回して、ラチェットレバーをロックします。

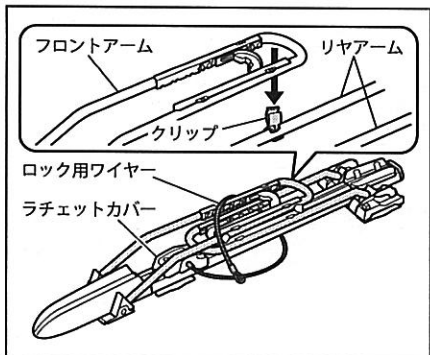
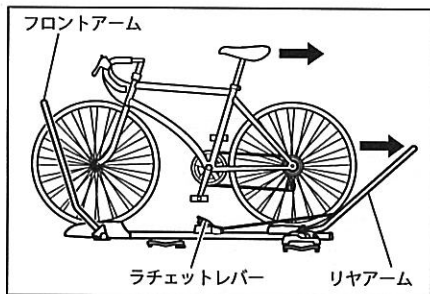
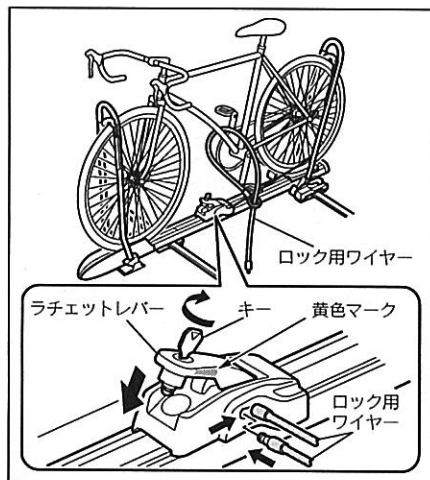
⚠ 注意

1. ラチェットレバーが確実に閉じ、側面の黄色マークが隠れていることを確認してください。
2. 自転車を積載後、前後左右にゆすり、かたつきがないか確認してください。

ロック用ワイヤーを使用する場合

1. ロック用ワイヤーの輪の部分にロック用ワイヤーの先端を自転車のフレームに巻くように通します。





2. ラチェットレバーが開いた状態でロック用ワイヤーの先端をラチェットカバーの穴に差し込みます。
3. ロック用ワイヤーを更に右に移動させます。
4. ラチェットレバーを閉じてロック用ワイヤーを固定します。
5. キーを回して、ラチェットレバーをロックします。

△ 注意

ラチェットレバーが確実に閉じ、側面の黄色マークが隠れていることを確認してください。

自転車の降ろし方

1. キーを回してラチェットレバーのロックを解除し、ラチェットレバーを持ち上げます。
2. ロック用ワイヤーを左に移動し外します。
3. リヤアームを後方に全開します。
4. 自転車を後方にずらしながら、フロントアームから前輪を外し、自転車を降ろします。

△ 注意

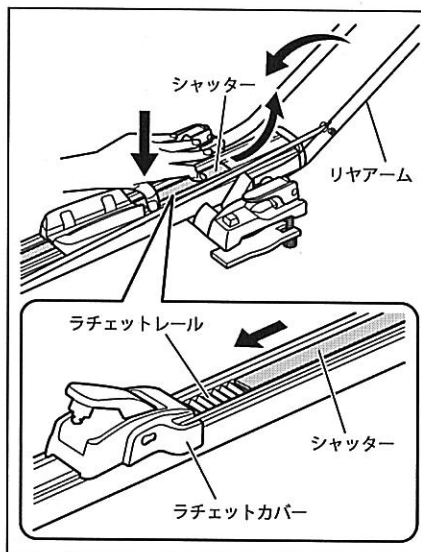
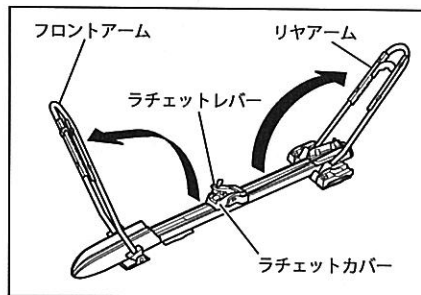
1. 作業は安定した平らな場所で行ってください。
2. 自転車を降ろす際は、車両を傷付けないようにしてください。

🔧 アドバイス

前輪がフロントアームから外れない場合は、タイヤを逆回転させると容易に外れます。

5. リヤアームをたたんだ後、フロントアームをクリップに嵌めます。
6. ロック用ワイヤーをたたんだアームに巻き付けた後、ラチェットカバーでロックします。

お手入れ方法



ラチェットレールのお手入れ

1. ラチェットレバーを持ち上げ、フロントアーム、リヤアームを広げます。
2. シャッターの後端を押さえ、リヤアームを閉じラチェットカバーからシャッターを引き抜きます。
3. ラチェットレールに砂や泥などが詰まっていたら、取り除きます。
4. シャッターの取り外しの逆手順でラチェットカバーにシャッターを嵌め込みます。

日常のお手入れ／保管方法

△ 注意

- ・本品が汚れた場合は、水洗いをしてください。洗剤・ワックスを使用した場合は、本品の素材を劣化させる恐れがあります。
- ・本品に潤滑スプレー、油、グリス、シンナー、洗剤を使用しないでください。種類によっては、本品の素材を劣化させ、割れなどが発生する恐れがあり、本品が脱落し、後続車や人を重大事故に巻き込む恐れがあります。
- ・本品を長期間使用しない場合は、直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。

使用上の注意事項

△ 注意

1. 本品の本体重量は6.6kgです。
2. クロスバーの前後間隔が適正を外れた状態でアタッチメントを取り付けると、アタッチメントに無理な力が加かることによりアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
3. 自転車のハンドルが車幅より外に出ないようにアタッチメントを取り付けてください。走行中に自転車が障害物にぶつかることによりアタッチメントや自転車が脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
4. 走行前に必ず自転車積載状態での高さを把握し、その高さより低い駐車場やトンネル等には進入しないでください。高さ制限バーやトンネルに自転車が当たり、自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
5. 走行前には、必ずキーをロックしてください。何らかの外部の力が加わった場合、ラチェットレバーが外れ、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
6. 自転車がバンクした場合は自転車の固定が十分にできません。速やかに適正空気圧にして使用してください。やむを得ず使用する場合は高速走行、悪路での使用を避けてください。また、自転車の固定が十分にできない場合はタイヤアジャスターを適正な位置に固定してください。(P.4のタイヤアジャスターの調整方法を参照。)
7. フロントアーム側に必ず前輪がくるように積載してください。逆に積載すると自転車を確実に固定できず脱落する恐れがあります。
8. 自転車以外のものを積載したり、1台のアタッチメントに2台以上の自転車を積載することはしないでください。自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
9. 積載時には、自転車収納ケースや防水シート等を使用しないでください。走行時の風圧により自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
10. 法定速度を守り、強風時や悪路では特に速度を落として走行してください。法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をするとノブボルトやウィングノブボルトの緩みにより自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
11. 洗車機を使用するときは、アタッチメントやクロスバーを外してください。取り付けたままで洗車機にかけると、アタッチメントやクロスバー、車両が損傷する恐れがあります。
12. 自転車の積み下ろしは、安定した平らな場所で行ってください。不安定な場所で行うと、自転車が落ちてケガをしたり自転車が損傷する恐れがあります。
13. 凍結する状況下ではラチェット動作は支障が生じる恐れがありますので使用しないでください。

ご不明な点はお買い求めのレクサス販売店へお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社